



Hewlett Packard
Enterprise

プリインストールオペレーティングシステム ソフトウェア ユーザーガイド

Microsoft® Windows Server® 2012 EssentialsおよびMicrosoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials用

摘要

このガイドは、Microsoft® Windows Server® 2012 EssentialsおよびMicrosoft® Windows Server® 2012 R2 Essentialsの設定および操作、ならびにシステムおよびオプションへのファームウェアとソフトウェアのインストールについての知識や経験がある担当者を対象にしています。

部品番号 : 507637-198
2016年3月
第7版

© Copyright 2008, 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

他社のWebサイトへのリンクは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterpriseは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterpriseから使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211および12.212に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

Microsoft®、Windows®、およびWindows Server®は、Microsoftグループの会社の登録商標です。Intel®、Pentium®、およびItanium®はインテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

目次

概要.....	4
はじめに.....	4
特長.....	4
情報の収集.....	6
出所に関する証明書.....	6
インストール.....	7
オペレーティングシステムのインストール前に.....	7
オペレーティングシステムのインストール.....	7
Microsoft Windows Server 2012 Essentials/ Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentials.....	7
インストール後の作業.....	19
サーバーへのログイン.....	19
Microsoft Windows Server 2012 Essentials/Microsoft Windows Server 2012 Essentialsの管理者パスワードの変更.....	19
Microsoft Windows Server 2012 Essentials/Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの地域設定の変更.....	19
integrated Lights-Out管理機能のインストール.....	20
ディスクドライブの設定.....	20
追加のページファイルの作成.....	21
テープドライブのインストール.....	21
イベントログエラー.....	22
サーバーのバックアップ.....	22
ネットワークプロトコルの設定.....	22
Remote Access Server for Microsoft Windows Server 2012 Essentials/ Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentials のセットアップ.....	22
Java Virtual Machineのインストール.....	22
Hyper-Vのインストール (Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの場合).....	23
BitLockerドライブ暗号化の有効化.....	23
インストール後の作業 (HPE ProLiantサーバーのみ).....	26
Webベースマネジメントユーティリティ.....	26
HPEマネジメントエージェントのインストール.....	26
ネットワークチャージングおよび設定ユーティリティのインストール.....	26
HP Smart Update Manager (HPSUM) の使用.....	26
アレイコントローラーの設定.....	27
マネジメントエージェントの使用.....	27
トラブルシューティング.....	28
オペレーティングシステムの再インストール.....	28
サポートと他のリソース.....	29
ご連絡の前にご用意いただく情報.....	29
Hewlett Packard Enterpriseの連絡先.....	29
カスタマーセルフリペア.....	29
Hewlett Packard Enterpriseカスタマーサポート.....	30
頭字語と略語.....	31

概要

はじめに



重要: ご使用のサーバーにオペレーティングシステムがプリインストールされている場合は、初めてサーバーの電源を入れるときにHPE SmartStart DVD/Service Pack for ProLiantまたはHPE Intelligent Provisioningから起動しないでください。SmartStart DVDまたはIntelligent Provisioningは、オペレーティングシステムを再インストールするときのみ使用してください。



重要: オペレーティングシステムのインストールを完了してから追加のハードウェアオプションをインストールしてください。

このガイドは、Microsoft Windows Server 2012 EssentialsおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Essentialsオペレーティングシステムをインストールする手順について説明します。

Microsoft Windows Server 2012 EssentialsおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Essentialsオペレーティングシステムの最新ユーザーガイドは、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/windows/docs>) からダウンロードできます。

特長

オペレーティングシステムは、サーバーの出荷前に、サーバーのドライブにあらかじめロードされています。また、最新ドライバーもサーバーのドライブにダウンロードされ、あらかじめロードされたオペレーティングシステムに統合されています。

サーバーにあらかじめロードされているオペレーティングシステムのインストールは、ロードされていない場合よりも短時間で済みます。インストール中に、使用言語、オペレーティングシステムのパーティションサイズ、サーバー名、ユーザー名、パスワードなどのユーザー固有の情報を入力する必要があります。

Microsoft Windows Server 2012 EssentialsおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Essentials用プリインストールソフトウェアには、次の特長があります。

- セットアップ作業は最小限です。セットアップウィザードの指示に従ってHewlett Packard Enterprise独自のコンポーネントをインストールし、可能な場合には設定をします。必要なオペレーティングシステムの再起動が数回行われた後に、Microsoft® Windows Server 2012 EssentialsまたはMicrosoft® Windows Server 2012 R2 Essentialsのインストールが完了し、必要なユーザー設定を実行できます。
- ネットワークプロトコルのTCP/IPを設定済みです。これらのサービスは、効果的なネットワーク管理に必要です。このサービスによって、サーバー用のHPEマネジメントエージェントがHPE SIMと通信できます。すべてのHPE ProLiant Gen8以降のサーバーでは、Agentless Management Service (AMS) およびWbem Providerがデフォルトでインストールされます。
- AMSについて詳しくは、『Systems Insight Manager 7.0 and HPE Agentless Management overview』 (<http://www.hpe.com/info/SIM70-AgentlessMgmt-Overview> (英語)) を参照してください。
- Wbem Providerについて詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<http://www.hpe.com/info/insight-wbem-manuals>) を参照してください。
- オペレーティングシステムアクティベーション。Hewlett Packard Enterpriseから直接購入した場合、その製品はアクティベーション済みです。お近くのHPE製品販売店でこの製品を購入した場合は、オンラインで、またはMicrosoft社に直接電話で連絡して、インストールから60日以内に製品のアクティベーションを完了する必要があります。インストールが完了したら、アクティベーション手順に従います。使用開始または猶予期間延長について詳しくは、Microsoft® サポート技術情報の記事、または『Microsoft OEMライセンス—Windows Serverに関するHPE FAQ』 (<http://www8.hp.com/h20195/v2/GetPDF.aspx/4AA4-3787JPN.pdf>) を参照してください。

- サーバー用のマネジメントエージェントをインストールして、サーバーを即座に管理できます。マネジメントエージェントは、サーバーの性能と設定およびオペレーティングシステムの性能を監視します。マネジメントエージェントは、障害発生時にアラートを発行して問題の発生を防ぎます。
- NTFSを設定済みです。Microsoft Windows Server 2012 EssentialsおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの多くの新機能では、Microsoft Active Directoryを使用してサーバーをドメインコントローラーにする場合などに、NTFSが必要です。また、NTFSは優れたセキュリティ機能を提供します。サーバーを正しく設定し、ネットワークインフラストラクチャ内でMicrosoft Windows NTの旧バージョンと併用して、Microsoft Windows Server 2012 EssentialsおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 EssentialsでNTFSを使用する方法については、Microsoft Windows Server 2012 EssentialsおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Essentialsソフトウェアのドキュメントを参照してください。

Microsoft Windows Server 2012 EssentialsおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Essentialsについて詳しくは、MicrosoftのWebサイト (<http://www.microsoft.com/ja-jp/server-cloud/windows-server-essentials/default.aspx>) を参照してください。

情報の収集

出所に関する証明書



重要：COAラベルがサーバーのどこに貼付されているかを確認し、後で参照できるようにプロダクトキーを記録しておいてください。

COAラベルは、次の目的に使用されます。

- ライセンスを確認し、Microsoft®アップグレードプログラムを使用して、プリインストールオペレーティングシステムをアップグレードします。
- オペレーティングシステムに回復不能な障害が発生したときに、オペレーティングシステムを再インストールします。

COAラベルの貼付位置は、サーバーのモデルによって異なります。ラックマウント型サーバーモデルでは、COAラベルは、右側のサイドパネルの前部またはトップパネルの前面側の右隅にあります。タワー型モデルでは、COAラベルは、サーバーのトップパネルの後部にあります。

注：ここに示すプロダクトキーは一般的な例であり、実際に購入された製品のプロダクトキーと異なる場合があります。



COA END ITEM: Windows Svr Standard ROK 2012 R2 x64 English ORY OEI 2CPU/2VM
製品ファミリー名: Windows Server 2012 R2

注：プロダクトキーは、工場出荷時にサーバーにすでにインストールされているため、オペレーティングシステムを最初にインストールする際には不要です。

サーバーを最初にインストールし、COAラベルを簡単に確認できるときに、次の欄にプロダクトキーを記録しておいてください。

ご使用のサーバーの製品ID番号

HPE ProLiantサーバー上のWindows Server®オペレーティングシステム製品のライセンスについて詳しくは、『ProLiantサーバー上のWindows Server OEM製品のライセンスに関するFAQ』(<http://www8.hp.com/h20195/v2/GetPDF.aspx/4AA4-3787JPN.pdf>) を参照してください。

インストール

オペレーティングシステムのインストール前に



重要: サーバーのユーザーガイドの説明に従ってサーバーのハードウェアを接続してから、サーバーの電源を入れて、オペレーティングシステムソフトウェアを設定してください。ソフトウェアのインストールが完了するまで、追加のハードウェアデバイスを取り付けしないでください。



重要: オペレーティングシステムのインストール後にHewlett Packard Enterpriseのドライバーファイルを指定するように要求されたら、パスとしてC:\Driversを入力してください。ドライバーファイルは、このパスのサブディレクトリにあります。ディレクトリを確認するには、**[参照]**をクリックしてください。



重要: ソフトウェアのインストールを正常に完了するため、TCP/IPサービスをインストールし、サーバーをアクティブなネットワークに接続する必要があります。



重要: BIOSベースのサーバーについては、Windows Server 2012 EssentialsおよびWindows Server 2012 R2 Essentialsオペレーティングシステムには、出荷時に3つから4つのパーティション（それぞれ、1 GB、60 GB、および4 GB）が作成されています。1 GBパーティションはシステム専用であり、非表示になっています。この1 GBのシステムパーティションを削除したり、フォーマットしたりしないでください。3番目のパーティションはインストールのために作成され、オペレーティングシステムの最初のセットアップ時に自動的に削除されます。

UEFIベースのサーバーについては、Windows Server 2012 EssentialsおよびWindows Server 2012 R2 Essentialsオペレーティングシステムには出荷時に5つのパーティション（それぞれ300 MB、1 GB、128 MB、60 GB、4 GB）が作成されています。300 MBのリカバリパーティション、1 GBのEFIパーティション、および128 MBのMSRパーティションは、システム専用であり非表示です。これらのシステムパーティションを削除したり、フォーマットしたりしないでください。5番目のパーティションはインストールのために作成され、オペレーティングシステムの最初のセットアップ時に自動的に削除されます。

オペレーティングシステムのインストール

Microsoft Windows Server 2012 Essentials/ Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentials

Microsoft Windows Server 2012 Essentials/Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentialsオペレーティングシステムをインストールするには、以下の手順に従ってください。

注: 以下のスクリーンショットは一般的な表示であり、ご使用のサーバーにインストールされている特定のオペレーティングシステムの表示とは異なる場合があります。

1. サーバーの電源を入れます。

2. 必要な言語の選択を求められます。適切な言語を選択し、**[続行]**をクリックします。

Hewlett Packard Enterprise ProLiant DL180 Gen9

手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------


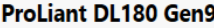

言語の選択: 日本語

続行

HPE ROK
HPE & Microsoft bring together the world's leading server hardware and software innovations, applications, resources, and support. www.hpe.com/info/ROK

3. プロンプトが表示された場合、Hewlett Packard Enterpriseの[Welcome]画面で適切なサービスパックレベルを選択し、適切なキーを押して続行します。

[続行]をクリックします。



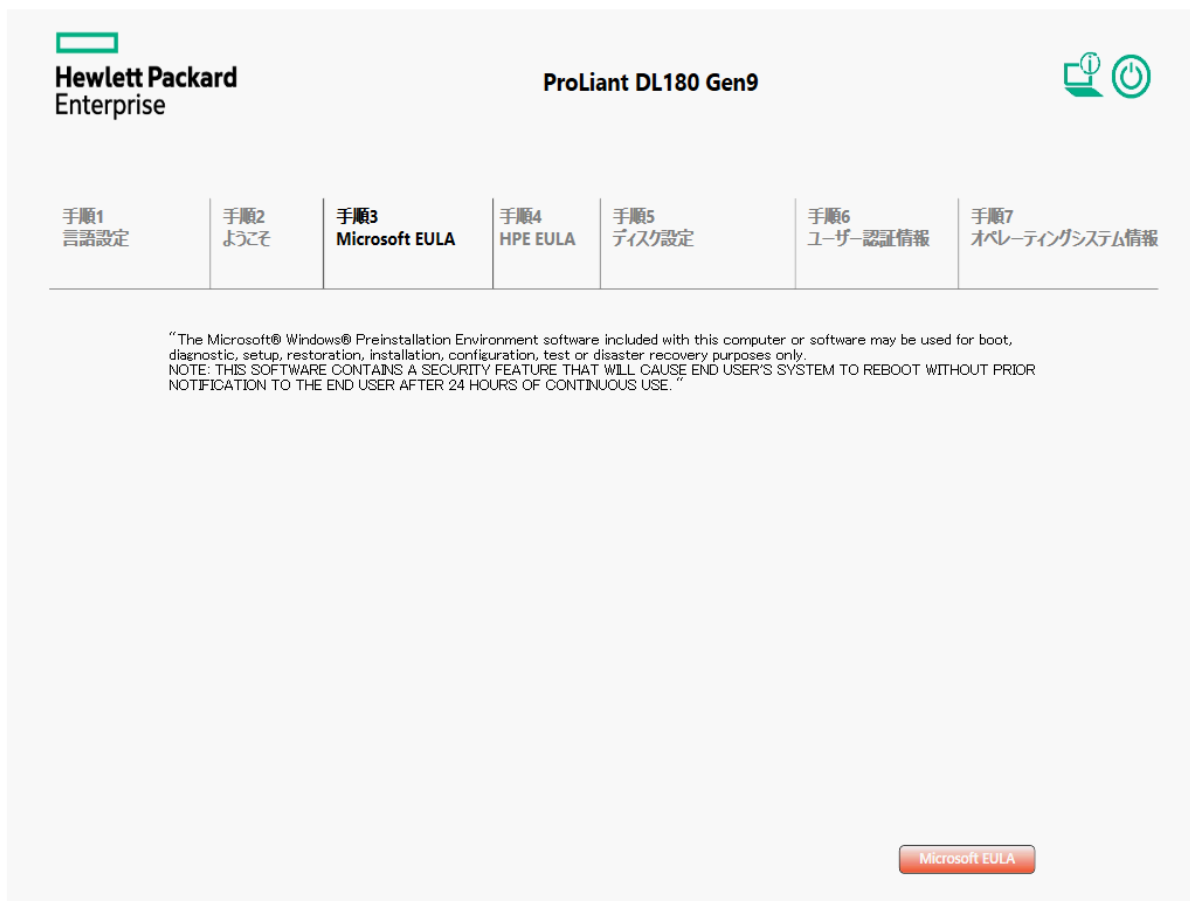
手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

ProLiant Serverをお買い求めいただきまして
ありがとうございます

このサーバーは工場出荷時にソフトウェアがインストールされています。
ソフトウェアのインストールを完了するには、『**ProLiantインストール オペレーティングシステム ユーザーガイド**』
の説明を参照してください。
<http://www.hpe.com/info/windows/documentation>
Hewlett Packard Enterpriseカスタマーサービスについては、以下のサイトを参照してください。
<http://www.hpe.com/contact>

続行

4. **[Microsoft EULA]**ページで、**[Microsoft EULA]**をクリックします。



The screenshot shows the HP ProLiant DL180 Gen9 installation interface. At the top left is the Hewlett Packard Enterprise logo. At the top right is the model name "ProLiant DL180 Gen9" and a power icon. Below the logo is a progress bar with seven steps:

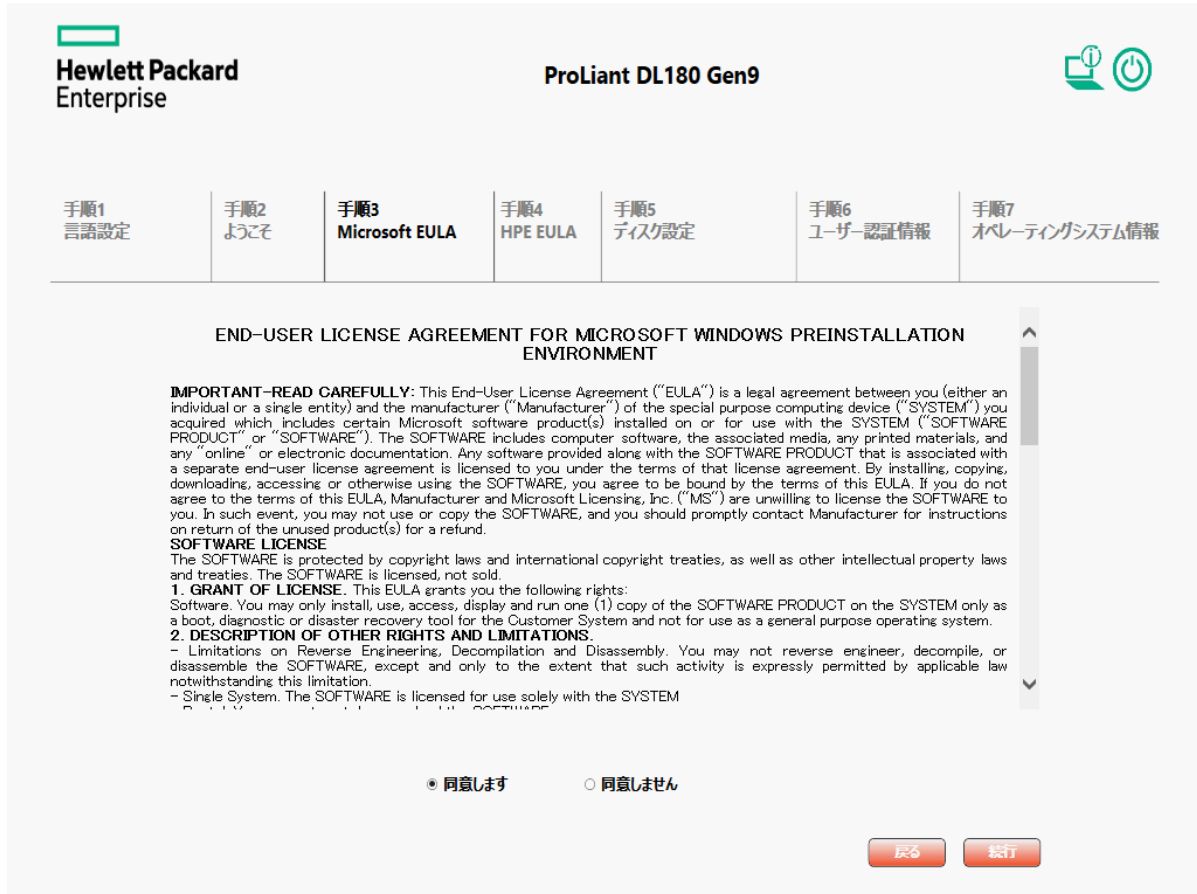
手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	------------------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

Below the progress bar is a warning message:

"The Microsoft® Windows® Preinstallation Environment software included with this computer or software may be used for boot, diagnostic, setup, restoration, installation, configuration, test or disaster recovery purposes only.
NOTE: THIS SOFTWARE CONTAINS A SECURITY FEATURE THAT WILL CAUSE END USER'S SYSTEM TO REBOOT WITHOUT PRIOR NOTIFICATION TO THE END USER AFTER 24 HOURS OF CONTINUOUS USE."

At the bottom right, there is a red button labeled "Microsoft EULA".

5. [END-USER LICENSE AGREEMENT FOR MICROSOFT WINDOWS PREINSTALLATION ENVIRONMENT]を読み、[同意します]を選択してMicrosoft社の使用許諾契約書に同意し、[続行]をクリックします。



Hewlett Packard Enterprise ProLiant DL180 Gen9

手順1 言語設定 | 手順2 ようこそ | **手順3 Microsoft EULA** | 手順4 HPE EULA | 手順5 ディスク設定 | 手順6 ユーザー認証情報 | 手順7 オペレーティングシステム情報

END-USER LICENSE AGREEMENT FOR MICROSOFT WINDOWS PREINSTALLATION ENVIRONMENT

IMPORTANT-READ CAREFULLY: This End-User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you (either an individual or a single entity) and the manufacturer ("Manufacturer") of the special purpose computing device ("SYSTEM") you acquired which includes certain Microsoft software product(s) installed on or for use with the SYSTEM ("SOFTWARE PRODUCT" or "SOFTWARE"). The SOFTWARE includes computer software, the associated media, any printed materials, and any "online" or electronic documentation. Any software provided along with the SOFTWARE PRODUCT that is associated with a separate end-user license agreement is licensed to you under the terms of that license agreement. By installing, copying, downloading, accessing or otherwise using the SOFTWARE, you agree to be bound by the terms of this EULA. If you do not agree to the terms of this EULA, Manufacturer and Microsoft Licensing, Inc. ("MS") are unwilling to license the SOFTWARE to you. In such event, you may not use or copy the SOFTWARE, and you should promptly contact Manufacturer for instructions on return of the unused product(s) for a refund.

SOFTWARE LICENSE
The SOFTWARE is protected by copyright laws and international copyright treaties, as well as other intellectual property laws and treaties. The SOFTWARE is licensed, not sold.

1. GRANT OF LICENSE: This EULA grants you the following rights:
Software. You may only install, use, access, display and run one (1) copy of the SOFTWARE PRODUCT on the SYSTEM only as a boot, diagnostic or disaster recovery tool for the Customer System and not for use as a general purpose operating system.


2. DESCRIPTION OF OTHER RIGHTS AND LIMITATIONS.
- Limitations on Reverse Engineering, Decompilation and Disassembly. You may not reverse engineer, decompile, or disassemble the SOFTWARE, except and only to the extent that such activity is expressly permitted by applicable law notwithstanding this limitation.
- Single System. The SOFTWARE is licensed for use solely with the SYSTEM

同意します 同意しません


戻る 続行

6. [HPE EULA]ページで、HPEエンドユーザー使用許諾契約書を読み、[同意します]を選択してHPEのエンドユーザー使用許諾契約書に同意します。

[補助ソフトウェア]をクリックし、Hewlett Packard Enterpriseが使用する、補助ライセンスが適用されるすべての他社製ソフトウェアを選択します。



ProLiant DL180 Gen9



手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

HPEエンドユーザー使用許諾契約書

1. **適用の範囲** HPEエンドユーザー使用許諾契約書(以下「本契約」)は付随するソフトウェアの使用(ソフトウェアをインストール、保存、読み込み、実行及び表示 することをいいます。以下同じ)に適用されます。ただし、お客様(個人又は法人)とHewlett Packard Enterprise Company又はその関係会社(以下総称して「日本HPE」)との間に別途契約がある場合を除きます。お客様は、ソフトウェアをダウンロード、複製又は使用することにより、本契約に同意したものとみなされます。日本HPEは本契約を英語以外のいくつかの言語に翻訳し、以下のサイトで公開しています。
<http://www.hpe.com/software/SWlicensing>

2. **条件** 本契約には、ソフトウェアライセンス情報、追加の使用許諾制限条項、ソフトウェア仕様、公開されている保証、サプライヤーの条件、オープンソースソフトウェアライセンス、それに類似した内容など、ソフトウェアに付随する又は日本HPEが参照する補足 書面(以下「補足書面」)が含まれます。追加の使用許諾制限条項については以下を参照してください。
<http://www.hpe.com/software/SWlicensing>

3. **権限** お客様が別の個人又は法人の代理として本契約に同意する場合、正当な代理権限を有していることを保証する必要があります。

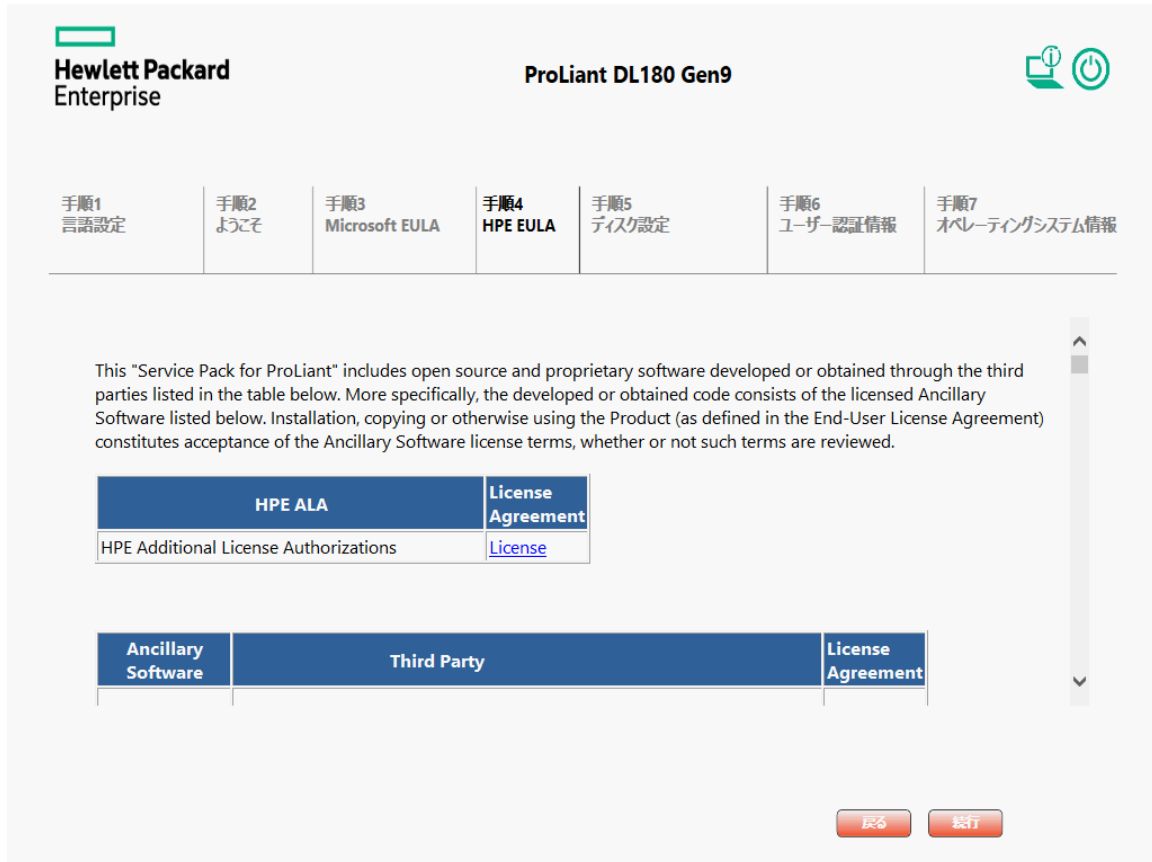
同意します 同意しません

補助ソフトウェア

戻る

続行

7. **[補助ソフトウェア使用許諾契約]**を読み**[続行]**をクリックします。



Hewlett Packard Enterprise **ProLiant DL180 Gen9**

手順1 言語設定 | 手順2 ようこそ | 手順3 Microsoft EULA | **手順4 HPE EULA** | 手順5 ディスク設定 | 手順6 ユーザー認証情報 | 手順7 オペレーティングシステム情報

This "Service Pack for ProLiant" includes open source and proprietary software developed or obtained through the third parties listed in the table below. More specifically, the developed or obtained code consists of the licensed Ancillary Software listed below. Installation, copying or otherwise using the Product (as defined in the End-User License Agreement) constitutes acceptance of the Ancillary Software license terms, whether or not such terms are reviewed.

HPE ALA	License Agreement
HPE Additional License Authorizations	License

Ancillary Software	Third Party	License Agreement

戻る 続行

8. **[OSパーティションサイズ設定]**ページで、次のいずれかを選択して、オペレーティングシステムのパーティションサイズを設定します。
- **[Microsoft推奨]**：このオプションは、パーティションサイズを、このエディションのオペレーティングシステムで推奨される最小のサイズに設定します。
 - **[カスタム]**：このオプションでは、パーティションサイズを最小パーティションサイズ（60 GB）から最大ディスク容量の間で設定できます。
 - **[スクロールバー]**：このオプションは、カスタムディスクサイズオプションの一部です。最小パーティションサイズ（60 GB）から最大ディスク容量の間でスクロールバーをドラッグして、必要なディスクサイズを選択することもできます。



重要：ハードディスクのサイズ、会社名、サーバーの名前、内部ドメイン名、管理者ユーザー名、標準ユーザー名、管理者パスワード、標準パスワード、およびWindows Updateの設定については、MicrosoftのWebサイト（<http://www.microsoft.com>）を参照してください。

【続行】をクリックします。

The screenshot shows the BIOS setup interface for a ProLiant DL180 Gen9 server. At the top left is the Hewlett Packard Enterprise logo. At the top center is the model name 'ProLiant DL180 Gen9'. At the top right are icons for help and power. Below the header is a navigation bar with seven steps: 手順1 言語設定, 手順2 ようこそ, 手順3 Microsoft EULA, 手順4 HPE EULA, 手順5 ディスク設定 (highlighted), 手順6 ユーザー認証情報, and 手順7 オペレーティングシステム情報. The main content area is titled 'OSパーティション サイズ設定'. It contains instructions in Japanese about defining disk capacity options. There are two radio button options: 'Microsoft推奨' (selected) with a value of 61440, and 'カスタム' with a value of 1429258. A progress bar is shown below the options. At the bottom right are '戻る' (Back) and '続行' (Next) buttons.

9. ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 Essentialsである場合は、以下のように[ユーザー認証情報]ページが表示され、[会社名]、[サーバー名]、[内部ドメイン名]、[管理者アカウント名]、[標準的なユーザーアカウント名]、管理者アカウント名の[パスワード]、標準的なユーザーアカウント名の[パスワード]、および[更新プログラムの設定]を入力できます。

たとえば、[会社名]にContoso Server Ltd、[サーバー名]にContosoServer、[内部ドメイン名]にContoso、[管理者アカウント名]にSupport、および[標準的なユーザーアカウント名]にHelpdeskと入力します。管理アカウント名の[パスワード]と標準的なユーザーアカウント名の[パスワード]は8文字の複雑なパスワードにする必要があります。

パスワード条件については、オプションの[ここをクリックするとヘルプが表示されます]をクリックし、[続行]をクリックします。詳しくは、Microsoft社のWebサイトにあるMicrosoftサポート技術情報の記事を参照してください。

ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 R2 Essentialsである場合は、以下のように[ユーザー認証情報]ページが表示され、[会社名]、[サーバー名]、[内部ドメイン名]、[管理者アカウント名]、管理者の[パスワード]、および[更新プログラムの設定]を入力できます。

たとえば、[会社名]をContoso corp、[サーバー名]をContosoServer、[内部ドメイン名]をContoso、および[管理者ユーザー名]をSupportとします。管理者の[パスワード]は8文字の複雑なパスワードにする必要があります。


次のいずれかの[更新プログラムの設定]オプションを選択します。

- 推奨設定を使用する
- 更新プログラムのみをインストールする
- 更新プログラムを確認しない

パスワード条件については、オプションの[Click here]をクリックし、[続行]をクリックします。詳しくは、Microsoft社のWebサイトにあるMicrosoftサポート技術情報の記事を参照してください。



- Windows Server Essentialsの展開 (<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=296662>)
- Windows Server Essentialsの展開 (<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=296663>)

- Windows 8.1およびWindows Server 2012 R2のプライバシーに関する声明 (<http://go.microsoft.com/fwlink/?linkId=280262>)



**Hewlett Packard
Enterprise**

ProLiant DL180 Gen9



手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

サーバー設定

会社名

サーバー名

内部ドメイン名

ユーザー設定

管理者アカウント名

パスワード


パスワードの確認

更新プログラムの設定



推奨設定を使用する

更新プログラムのみをインストールする

更新プログラムを確認しない

ここをクリックするとヘルプが表示されます。 

10. [オペレーティングシステム情報]ページで、[マイクロソフトソフトウェアライセンス条項]を読み、[同意します]を選択してMicrosoft社のエンドユーザー使用許諾契約書に同意します。[続行]をクリックします。

 **ProLiant DL180 Gen9** 

手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

Microsoftオペレーティングシステムエンドユーザー使用許諾契約書

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項

MICROSOFT WINDOWS SERVER 2012 R2 ESSENTIALS

本マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 (以下「本ライセンス条項」といいます) は、お客様と以下の当事者との契約を構成します。

ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます) をサーバーと共に頒布するサーバー製造業者 (以下「製造業者」といいます)、または

本ソフトウェアをサーバーと共に頒布するソフトウェア インストール業者 (以下「インストール業者」といいます)

以下のライセンス条項をお読みください。本ライセンス条項は、上記のソフトウェアおよびソフトウェアが記録されたメディア (以下総称して「本ソフトウェア」といいます) に適用されます。また、本ライセンス条項は本ソフトウェアに関連する下記マイクロソフト製品にも適用されるものとします。

- 更新プログラム
- 追加ソフトウェア

同意します 同意しません

11. [オペレーティングシステム情報]ページで、選択した言語、サービスパックレベル、マネジメントエージェントのバージョン、およびホットフィックスの詳細を確認します。インストールに進む前に確認してください。

Hewlett Packard Enterprise ProLiant DL180 Gen9

手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

オペレーティングシステムの情報

オペレーティングシステム: Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials
Multilingual Pack: 英語 - 日本語 - 韓国語
Service Pack レベル: N/A
Service Pack for ProLiant バージョン: SPP 2016.04.0 http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl
マネジメント エージェント バージョン: 7.5.4.3
インストールされたホットフィックス: KB3031044
HP ProLiantおよびWindows製品、サービスについての詳細は、<http://www.hpe.com/jp/info/windows> を参照してください。
Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.

日本語が選択されました。
[続行]をクリックしてインストールを開始します。

戻る 続行

12. [続行]をクリックして、インストールに進みます。

ハードウェア構成に左右されますが、全体のインストールには約2時間かかります。



注意: インストールが終了すると、サーバーは再起動を要求します。インストール処理中は、決してサーバーの電源を切らないでください。インストール処理中にサーバーの電源を切ると、インストールが正しく行われず、オペレーティングシステムが再起動しない場合があります。

注: オペレーティングシステムがMicrosoft Windows Server 2012 Essentialsの場合は、インストール終了後に、キーボードの**Windows**キーを押して、[スタート]ページの任意の場所を右クリックし、[すべてのアプリ]、[プリインストール]、[Microsoft使用許諾契約書]の順に選択することにより、表示および印刷することができます。

注: オペレーティングシステムがMicrosoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの場合は、インストール終了後に、[スタート]メニューから[↓]ボタンをクリックして[アプリ]、[プリインストール]、[Microsoft使用許諾契約書]の順にクリックすることにより、EULAを表示および印刷することができます。

インストール後の作業

サーバーへのログイン

サーバーにログインするには、以下の手順に従ってください。

1. ログイン画面に、Microsoft Windows Server 2012 Essentials/Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentialsのインストール時に入力した管理者ユーザー名とパスワードを入力します。
2. [OK]をクリックします。

Microsoft Windows Server 2012 Essentials/Microsoft Windows Server 2012 Essentialsの管理者パスワードの変更

Microsoft Windows Server 2012 Essentials/Microsoft Windows Server 2012 Essentialsの管理者パスワードを変更するには、以下の手順に従ってください。

管理者パスワードは、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押して、[パスワードの変更]をクリックするか、または以下の手順で変更できます。

1. [Microsoft Windows Server 2012 Essentials]ダッシュボードを開き、[ユーザー]タブを選択します。
2. [User]を選択します。
3. ウィンドウの右側に表示される[ユーザーアカウントパスワードの変更]をクリックします。
4. [パスワード]フィールドに新しいパスワードを入力し、[パスワードの確認]フィールドにパスワードを再入力します。
5. [OK]をクリックします。
6. もう一度[OK]をクリックして処理を完了します。



注意：管理者パスワードは絶対に忘れないでください。サーバーの再設定には、このパスワードが必要です。

管理者パスワードの変更について詳しくは、サーバーに付属のオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

Microsoft Windows Server 2012 Essentials/Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの地域設定の変更

Microsoft Windows Server 2012 Essentials/Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの地域設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

1. ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 Essentialsの場合は、キーボードのWindowsキーを押して[スタート]ページを開きます。
ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 R2 Essentialsの場合は、[スタート]メニューから[スタート]ページを開きます。
2. [コントロールパネル]をクリックします。
3. [時計、言語、および地域]リンクをクリックします。

4. [言語]リンクをクリックし、[詳細設定]を選択します。
5. [Windowsの表示言語の上書き]メニューで[規定値を上書きする]の[入力言語]リストから言語を選択します。
6. [保存]をクリックして設定を保存します。
7. [時計、言語、および地域]をクリックします。
8. [地域]をクリックします。
9. [管理]タブをクリックし、[システムロケールの変更]をクリックしてシステムロケールを変更します。言語を選択し、[OK]をクリックします。

integrated Lights-Out管理機能のインストール

iLOコントローラーが取り付けられたサーバーを購入した場合は、以下の手順に従ってインストールを完了します。オペレーティングシステムのインストールが完了するまで、デバイスドライバーをインストールしないでください。



重要：Microsoftのハードウェアウィザードは、iLOコントローラーをベースシステムデバイスとして検出します。ハードウェアウィザードはドライバーのインストールが完了するまで、そのデバイスとして表示し続けます。

1. [新しいハードウェアの検出ウィザード]ウィンドウで、[ドライバーソフトウェアを検索してインストールします]をクリックします。
2. [デバイスに最適なドライバーを検索する]を選択します。
3. [次へ]をクリックします。
4. [場所を指定]を選択し、[フロッピーディスクドライブ]と[CD-ROMドライブ]を削除します。
5. [次へ]をクリックします。
6. テキストボックスに次のパスを入力します。
C:\Drivers
7. [OK]をクリックします。
8. [ドライバーファイルの検索]画面で[次へ]をクリックし、[完了]をクリックします。

ディスクドライブの設定

オペレーティングシステムのインストール時にサーバー上で設定済みのドライブは、オペレーティングシステムがインストールされているプライマリ論理ドライブのみです。プライマリドライブには、パーティションが作成されていないスペースもあります。このパーティションが作成されていないスペースと、サーバーに追加した他のディスクドライブを使用するには、ディスクの管理を使用して事前にパーティションを作成してフォーマットしなければなりません。

サーバーと一緒にアレイコントローラーを購入している場合は、「アレイコントローラーの設定」の手順を参照してください。

1. オペレーティングシステムがMicrosoft Windows Server 2012 Essentialsの場合は、キーボードのWindowsキーを押してスタートページを開き、[管理ツール]、[コンピューターの管理]の順に選択します。
ご使用のオペレーティングシステムがMicrosoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの場合は、[スタート]ボタンをクリックし、[管理ツール]、[コンピューターの管理]の順にクリックします。
2. [記憶域]ディレクトリを展開して、[ディスクの管理]を選択します。ウィンドウの右側にディスクと論理ドライブの情報が表示されます。
3. [コンピューターの管理]ウィンドウの右側下に、ACU/HPE SSAが作成した新しい論理ドライブが未割り当て領域として表示されない場合は、[操作]メニュー、[ディスクの再スキャン]の順にクリックします。
4. 右側下のパネルで、[ディスク1]を右クリックして、[ディスクの初期化]を選択します。
5. [ディスクの初期化]画面で、ディスク1を選択してOKをクリックします。ディスクは、ベーシックディスクとして識別されます。

6. ディスク容量が示され「未割り当て」のラベルが付けられているボックスを右クリックし、**[新しいボリューム (シンプル、スパン、ストライプ、ミラー、RAID-5)]**を選択します。
7. **[新しいパーティションウィザード]**画面で、**[次へ]**をクリックします。
8. 最大ディスク容量を使用する場合は、**[次へ]**をクリックします。または**[パーティションサイズの指定]**画面で、パーティションサイズを入力します。
9. **[ドライブ文字またはパスの割り当て]**画面で、**[次へ]**をクリックしてデフォルトで割り当てられたドライブ文字を受け入れます。**[パーティションのフォーマット]**画面が表示されます。
10. ドライブをフォーマットするには、適切なファイルシステムフォーマット (デフォルトはNTFS)、**[アロケーションユニットサイズ]**を選択します。
ボリュームラベルを入力するか、またはデフォルトのラベルを受け入れます。
11. 必要に応じて、**[クイックフォーマットする]**および**[ファイルとフォルダーの圧縮を有効にする]**を選択します。
12. ドライブをフォーマットしない場合は、**[このパーティションをフォーマットしない]**を選択します。
13. **[次へ]**をクリックします。
14. **[新しいパーティションウィザード]**画面で、**[完了]**をクリックします。フォーマットが完了した時点で、パーティションは選択したファイルシステムにフォーマットされ、**[正常]**のラベルが付けられます。

新しいハードディスクドライブの設定方法およびダイナミックディスクへのアップグレード方法について詳しくは、サーバーに付属のオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

追加のページファイルの作成

追加のメモリまたはソフトウェアアプリケーションをサーバーにインストールする際に、Cドライブの空き容量が残り少ないことを示すエラーメッセージがイベントログに表示されることがあります。この問題を解消するには、Cドライブにあるアプリケーションを他のパーティションに移動させるか、ページファイルを作成します。サーバーのメモリの総量をサポートするために、別のパーティションにページファイルを作成すると、最も効果的に問題を解消できます。

追加のページファイルを作成したら、起動パーティションにあるページファイルを、サーバーのメモリの総量と同じに設定します。ページファイルの作成について詳しくは、下記のようにアクセスできる、**[ヘルプ]**ファイルを参照してください。

オペレーティングシステムがMicrosoft Windows Server 2012 Essentialsの場合は、キーボードの**Windows**キーを押して、**[スタート]**ページの任意の場所を右クリックし、**[すべてのアプリ]**、**[Windowsシステム]**、**[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

ご使用のオペレーティングシステムがMicrosoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの場合は、**[スタート]**メニューから**[↓]**ボタンをクリックし、**[アプリ]**、**[Windowsシステム]**、**[ヘルプとサポート]**の順にクリックします。

テープドライブのインストール

テープドライブを購入してサーバーで使用する場合、テープドライブのサポートドライバーを手動でインストールしなければならないことがあります。

1. オペレーティングシステムがMicrosoft Windows 2012 Essentialsの場合は、キーボードのWindowsキーを押して、**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]**、**[デバイスマネージャー]**の順にクリックします。
ご使用のオペレーティングシステムがMicrosoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの場合は、**[スタート]**メニューから**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]**、**[デバイスマネージャー]**の順にクリックします。
[デバイスマネージャー]によって、画面の右側にすべてのデバイスが表示されます。
2. テープデバイスを選択します。適切なドライバーをインストールするまで、テープドライブは、その他のデバイスカテゴリの疑問符 (?) アイコンの下に示されます。疑問符は、認識されていないデバイスを示します。
3. テープデバイスを右クリックして、**[プロパティ]**を選択します。
4. **[ドライバー]**タブをクリックして、**[ドライバーの更新]**をクリックします。**[ハードウェアの更新ウィザード]**が起動します。
5. **[次へ]**をクリックします。

6. [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します]を選択します。
7. [次の場所を含める]フィールドに次のパスを入力します。C:\DRIVERS
8. [サブフォルダーを含める]を選択します。
9. [次へ]をクリックします。ドライバーの検索結果に、適切なデバイスが表示されます。
10. 間違ったデバイスが表示される場合は、[戻る]をクリックして、正しいデバイスを選択しなおします。
11. [次へ]をクリックして、ドライバーをインストールします。
12. [閉じる]、[閉じる]ボタンの順に選択して[コンピューターの管理]画面に戻ります。

以上でテープドライバーのインストールは完了です。これで[コンピューターの管理]画面の[テープドライブ]カテゴリにテープデバイスが表示されます。

イベントログエラー

ProLiantインストールセッションユーティリティを終了した後に、特定のコントローラードライバーに関してイベントログエラーメッセージが表示される場合があります。これらのメッセージはこの時点で予測されているもので、サーバーまたはオペレーティングシステムの性能には影響しません。表示される可能性のあるメッセージは、次のとおりです。

- The device, \Device\scsi\adpml60ml, did not respond within the timeout period.
- The device, \Device\scsi\cpqfcalm1, did not respond within the timeout period.
- Unable to read IO control information from NBT device. Refer to article #Q257760 on the Microsoft® website (<http://www.microsoft.com>).

サーバーのバックアップ

ソフトウェアのインストールが完了してサーバーが動作可能になったら、テープバックアップシステムと認定されているテープバックアップソフトウェアを使用して、サーバーのバックアップを行ってください。

ネットワークプロトコルの設定

TCP/IPが自動的にインストールされます。サーバー用のマネジメントエージェントでは、SIMと通信するためにTCP/IP、Wbem Provider、およびAMSが必要であり、Microsoft Windows Server 2012 EssentialsおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 EssentialsではTCP/IPを有効にする必要があります。

Remote Access Server for Microsoft Windows Server 2012 Essentials/ Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentialsのセットアップ

1. キーボードのWindowsキーを押してスタートページを開き、[コントロールパネル]を選択します。
2. [ネットワークとインターネット]をクリックします。
3. [ネットワークと共有センター]をクリックします。
4. [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。
5. 画面の指示に従ってセットアップを進めてください。

必要なネットワーク接続パラメーターについて詳しくは、サーバーに付属のオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

Java Virtual Machineのインストール

一部のWebページは、Internet Explorer 6.0以降を使用して完全に、そして適切に表示させるために、Java Virtual Machine (<http://www.java.com>) をダウンロードおよびインストールする必要がある場合があります。たとえば、System Management HomepageからWebエージェントヘルプを表示させる場合、Java™ Virtual Machineがインストールされていないと、[ヘルプ]画面の左カラムに表示されるべきテキストが正しく表示されません。

Hyper-Vのインストール（Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの場合）

Hyper-Vをインストール（Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの場合）するには、以下の手順に従ってください。

1. [スタート]メニューから[サーバーマネージャー]をクリックします。
2. [管理]メニューで、[役割と機能の追加]をクリックします。
3. [開始する前に]ページで、インストールする役割と機能のために対象サーバーとネットワーク環境の準備が整っていることを確認します。[次へ]をクリックします。
4. [インストールの種類を選択]ページで、役割ベースまたは機能ベースのインストールを選択し、[次へ]をクリックします。
5. [対象サーバーの選択]ページで、サーバープールからサーバーを選択するか、仮想ハードディスクオプションを選択するかを選択して、[次へ]をクリックします。
6. [サーバーの役割の選択]ページで、[Hyper-V]を選択します。
7. 仮想マシンの作成および管理に使用するツールを追加するには、[機能の追加]をクリックします。[機能]メニューで、[次へ]をクリックします。
8. [次へ]をクリックします。
9. 注記を注意深く読んで、[次へ]をクリックします。
10. [仮想スイッチの作成]ページで、仮想スイッチと通信するネットワークアダプターを選択します。
11. [仮想マシンの移行]ページで、必要に応じて[Allow this server to send and receive live migrations of virtual machines and Authentication protocol]を選択します。
12. [次へ]をクリックします。
13. [既定のストア]ページで、必要に応じて、[Default location for virtual hard disk and Virtual machine configuration files]を変更し、[次へ]をクリックします。
14. [インストールオプションの確認]ページで、[必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する]を選択し、[インストール]をクリックします。
15. インストールが完了したらサーバーを再起動します。

サーバーを再起動した後、[サーバーマネージャー]の[すべてのサーバー]ページを開いて、Hyper-Vをインストールしたサーバーを選択し、選択したサーバーのページの[役割と機能]タイルを表示して、インストールを確認します。

BitLockerドライブ暗号化の有効化

Microsoft Windows Server 2012 Essentials/Microsoft Windows Server 2012 R2 EssentialsにBitLockerドライブ暗号化をインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. [サーバーマネージャー]からBitLocker機能を追加して、サーバーを再起動します。
2. オペレーティングシステムの起動後、管理者としてログインして、[コントロールパネル]を開きます。
3. [システムとセキュリティ]をクリックして、[BitLockerドライブ暗号化]をクリックします。
4. オペレーティングシステムのボリューム上で[BitLockerをオンにする]をクリックします。
5. [ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示された場合は、内容を確認して[続行]をクリックします。
6. [BitLockerドライブ暗号化]ページが表示されます。
7. [BitLockerをオンにする]をクリックすると、以下の警告のいずれかが表示されます。
 - BitLocker encryption might have a performance impact on your server. If your TPM is not initialized, the TPM Security Hardware wizard appears. Follow the directions to initialize the TPM. You must restart or shut down your computer for the changes to occur.

- o This device cannot use a Trusted Platform Module. Your administrator must set the "Allow BitLocker without a compatible TPM" option in the "Require additional authentication at startup" for OS volumes.
- a. 2つ目のエラーメッセージで特定されている問題を解決するには、次の手順を実行します。
 - i. **Windows**キーを押して、[ファイル名を指定して実行]コマンドにアクセスします。
 - ii. 「MMC」と入力します。[ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックします。
 - iii. [ファイル]、[スナップインの追加と削除]の順にクリックします。
 - iv. 利用できるスナップインのリストから[グループポリシーオブジェクトエディター]を選択し、[追加]をクリックして、スナップインを選択します。
 - v. [ローカルコンピューター]が選択されていることを確認して、[完了]をクリックします。
 - vi. [OK]をクリックします。
 - vii. [ローカルコンピューターポリシー]、[コンピューターの構成]、[管理用テンプレート]、[Windowsコンポーネント]、[BitLockerドライブ暗号化]、[オペレーティングシステムのドライブ]の順に展開し、[スタートアップ時に追加の認証を要求する]ポリシーを選択します。
 - viii.[有効]、[OK]をクリックします。
 - ix. すべてのパスを閉じます。
 - x. [ファイル]、[終了]の順にクリックします（必要に応じてMMCコンソールを保存してください）。
- 8. 手順2を繰り返します。
- 9. [BitLockerドライブ暗号化]ページで、スタートアップ時にドライブのロックを解除する方法を次のいずれかから選択します。
 - o USBフラッシュドライブを挿入する
 - o パスワードを入力する
- 10. 回復キーのバックアップ方法を指定してください。ページに、次のオプションが表示されます。
 - o [USBフラッシュドライブに保存する]- パスワードをUSBフラッシュドライブに保存します。
 - o [ファイルに保存する]- パスワードをネットワークドライブ上または他の場所にあるファイルに保存します。
 - o [回復キーを印刷する]- パスワードを印刷します。

1つまたは複数のオプションを使用して、リカバリパスワードを保存します。各オプションでは、オプションを選択してウィザードの手順に従い、リカバリパスワードの保存場所を設定するか、印刷してください。
- 11. リカバリパスワードを保存したら、[次へ]をクリックします。[Encrypt the selected disk volume]ページが表示されます。



重要：暗号化されたディスクを他のコンピューターに移動した場合や、システムのスタートアップ情報が変更された場合に、リカバリパスワードが必要になります。このパスワードは非常に重要であるため、Hewlett Packard Enterpriseでは、複数のコピーを作成してコンピューターから離れた安全な場所に保管し、データに確実にアクセスできるようにしておくことを推奨しています。BitLockerがロック状態になった場合、ボリューム上の暗号化されたデータのロックを解除するには、リカバリパスワードが必要です。このリカバリパスワードは、特定のBitLocker暗号化にのみ有効なものです。他のBitLocker暗号化セッションで暗号化されたデータの復元には使用できません。

- 12. [ドライブを暗号化する範囲の選択]ページで、[ディスク全体を暗号化する]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。
- 13. [BitLockerシステムチェックを実行する]チェックボックスが選択されていることを確認して、[続行]をクリックします。
- 14. [今すぐ再起動する]をクリックします。コンピューターが再起動して、そのコンピューターがBitLockerに対応しており、暗号化を開始できるかどうかをBitLockerが検証します。対応していない場合は、問題点を警告するエラーメッセージが表示されます。
- 15. 暗号化を開始できる場合は、[暗号化しています]ステータスバーが表示されます。画面下部の通知エリアにあるBitLocker Drive Encryptionアイコンにマウスカーソルを移動すると、ディスクボリューム暗号化の進捗状況を監視できます。

この手順が完了すると、確実に、オペレーティングシステムのボリュームが暗号化され、そのボリュームにのみ有効なリカバリパスワードが作成されます。次回のログイン時には、目に見える変更はありません。TPMが変更された場合やアクセスできない場合、キーシステムファイルが変更された場合、またはオペレーティングシステムではなく製品CDやDVDからコンピューターを起動しようとした場合に、コンピューターはリカバリモードに切り替わり、リカバリパスワードが入力されるまで解除されません。

BitLockerについて詳しくは、Microsoft社のWebサイト (<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/hh831713.aspx>) を参照してください。

インストール後の作業（HPE ProLiantサーバーのみ）

Webベースマネジメントユーティリティ

Webベースマネジメントユーティリティ（管理者プロファイルのデスクトップ上にショートカットリンクがあります）にログインするには、ネットワーク管理者アカウントおよびパスワードを使用してください。アカウントのログイン名は、次のフォーマットで入力する必要があります。

domain name\login name

マネジメントページを適切に表示させるため、より高い表示解像度に変更しなければならない場合があります。

HPEマネジメントエージェントのインストール



重要：セキュリティ上の理由により、パスワードを設定するには、64ビットの暗号化されたパスワード証明書を最初に取得してください。パスワード証明書は、HPE Systems Insight Managerの証明書サーバーから取得できます。証明書を設定して取得する方法については、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト<http://www.hpe.com/info/IMAagents-manuals>にある『Insightマネジメントエージェントユーザーガイド』を参照してください。

1. 次のいずれかを実行します。
 - a. Microsoft Windows Server 2012 Essentialsの場合は、キーボードのWindowsキーを押して、[スタート]ページの任意の場所を右クリックし、[すべてのアプリ]、[プリインストール]、[Service Pack for ProLiant]の順にクリックします。
 - b. Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの場合は、[スタート]メニューから[↓]をクリックし、[アプリ]、[プリインストール]、[Service Pack for ProLiant]の順に選択します。
2. セットアッププログラムが起動したら、画面上の指示に従ってください。インストール時にユーザー認証情報を入力する必要があります。

マネジメントエージェントについて詳しくは、『Insightマネジメントエージェントユーザーガイド』を参照してください。

ネットワークチームングおよび設定ユーティリティのインストール

ネットワークコンフィグレーションユーティリティを使用すると、複数の同一のNICをチーム化することができます。ネットワークコンフィグレーションユーティリティをインストールするには、HPE Software Update Managerを実行する必要があります。

ネットワークコンフィグレーションユーティリティソフトウェアのインストールプロセス中に、the CPQTEAM.DLL file is needed. というメッセージが表示される場合があります。デフォルトのパスがメッセージボックスに表示されます。[OK]をクリックしてパスを受け入れ、インストールを続行します。

HP Smart Update Manager（HPSUM）の使用

オペレーティングシステム用のHPSUMは、サーバーソフトウェアがインストールされるときに自動的にインストールされます。このソフトウェアには、ProLiantサーバー製品の特定の機能を活用するデバイスドライバーとユーティリティが含まれています。これらのドライバーは、ProLiantハードウェアでのみ使用できます。

1. HPSUMを起動するには、次のいずれかを実行します。

- Microsoft Windows Server 2012 Essentialsの場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]、[プログラムのインストール]、[Service Pack for ProLiant]の順にクリックします。
 - Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの場合は、[スタート]メニューから[↓]を押し、[アプリ]、[プログラムのインストール]、[Service Pack for ProLiant]の順に選択します。
2. セットアッププログラムが起動したら、画面上の指示に従ってください。

HPSUMを手動で起動するには、以下の手順に従ってください。

1. HPSUMを格納するディレクトリに移動します。
2. HPSum.batファイルを右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。

詳しくは、『Smart Update Managerユーザーガイド』を参照してください。

アレイコントローラーの設定

サーバーと一緒にアレイコントローラーを購入した場合は、オンラインACU/HPE SSAを実行して、残りの物理ドライブを使用できるようにセットアップしてください。



重要：ACUを実行するには、Microsoft® Internet Explorerが必要です。Internet Explorerは、アレイコントローラーとのインターフェイスとして使用されます。ページを適切に表示するには、サーバーのIPアドレスを信頼済みサイトの一覧に含める必要があります。設定を有効にするには、IPアドレスを信頼済みサイトの一覧に追加した後に、Internet Explorerを再起動する必要があります。

アレイコントローラーを設定するには、次のいずれかを実行します。

- Microsoft Windows Server 2012 Essentialsの場合は、キーボードのWindowsキーを押して、[スタート]ページの任意の場所を右クリックし、[すべてのアプリ]、[HPシステムツール]、[HPE Smart Storage Administrator]の順にクリックします。
- Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentialsの場合は、[スタート]メニューから[↓]をクリックし、[アプリ]、[HPシステムツール]、[HPE Smart Storage Administrator]の順に選択します。

詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイトhttp://www.hpe.com/support/CASAC_RG_jpにある『HPE Smartアレイコントローラーでのアレイの構成リファレンスガイド』を参照してください。

HPE SSAについて詳しくは、HPE SSAのWebサイト (<http://www.hpe.com/servers/ssa> (英語)) を参照してください。

マネジメントエージェントの使用

サーバー用のマネジメントエージェントは、セットアップ処理中にインストールされます。マネジメントエージェントについて詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト<http://www.hpe.com/info/IMAagents-manuals>にある『Insightマネジメントエージェントユーザーガイド』を参照してください。

トラブルシューティング

オペレーティングシステムの再インストール

サーバーのオペレーティングシステムが壊れた場合は、HPE Intelligent ProvisioningまたはSmartStart DVD、HPE Management DVD、およびHewlett Packard EnterpriseブランドバージョンのMicrosoft WindowsオペレーティングシステムDVDを使用して再インストールしてください。

オペレーティングシステムを再インストールするには、HPE Intelligent ProvisioningまたはSmartStart DVDを使用してサーバーを起動し、画面に表示されるインストールの指示に従ってください。



注意：HPE Intelligent ProvisioningまたはSmartStart DVDからオペレーティングシステムのインストールを起動して開始すると、ディスクドライブの現在のディスクパーティションとデータが永久に失われます。

HPE Intelligent ProvisioningまたはSmartStartによるインストールについては、サーバーに付属のProLiant Essentials Foundation Packを参照してください。

また、HPEブランドバージョンのMicrosoft Windows ServerオペレーティングシステムDVDからサーバーを起動することで、オペレーティングシステムを再インストールできます。インストールプロセス中に、該当するストレージドライバーを入手するために、**F6**キーを押すように求めるメッセージが表示される場合があります。その場合、ストレージドライバーはSmartStart DVDまたはHewlett Packard EnterpriseのWebサイト<https://www.hpe.com/jp/ja/support.html>（すべてのGen 8サーバー用）から入手できます。

サポートと他のリソース

ご連絡の前にご用意いただく情報

Hewlett Packard Enterpriseにご連絡いただく前に、次の情報をお手元にご用意ください。

- Active Health Systemログ（HPE ProLiant Gen8以降の製品の場合）
障害が検出される前の7日間のActive Health Systemログをダウンロードして使用できます。詳しくは、『HPE iLO 4ユーザーガイド』または『HPE Intelligent Provisioningユーザーガイド』（Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト<http://www.hpe.com/info/ilo/docs>）を参照してください。
- Onboard Administrator SHOW ALLレポート（HPE BladeSystem製品のみが対象）
Onboard Administrator SHOW ALLレポートの取得方法について詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト<http://www.hpe.com/info/OAlog>（英語）を参照してください。
- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品のシリアル番号
- 製品のモデル名と製品番号
- 製品の識別番号
- 該当するエラーメッセージ
- 追加したボードおよびハードウェア
- 他社製のハードウェアまたはソフトウェア
- オペレーティングシステムの種類とリビジョンレベル

Hewlett Packard Enterpriseの連絡先

米国および世界各地の連絡先については、Contact Hewlett Packard Enterprise Webサイト<http://www.hpe.com/info/assistance>を参照してください。

米国では、次の方法をご利用ください。

- Hewlett Packard Enterpriseに電話で問い合わせる場合は、1-800-334-5144にお電話ください。品質向上のため、お電話の内容を録音またはモニターさせていただくことがあります。
- Care Pack（サービスマンアップグレード）を購入されている場合は、サポートおよびドライバーのWebサイト（<http://www.hpe.com/jp/support>）を参照してください。Webサイトで問題を解決できない場合は、1-800-633-3600まで電話でお問い合わせください。Care Packについて詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト（<http://www.hpe.com/info/carepackservices>）を参照してください。

カスタマーセルフリペア

カスタマーセルフリペアとは、どのようなサービスでしょうか。

Hewlett Packard Enterpriseのカスタマーセルフリペアは、保証または契約のもとで最も迅速なサービスを提供します。Hewlett Packard Enterpriseが交換用の部品を直接お客様に出荷し、お客様が部品を交換します。このプログラムでは、お客様がご自分の都合の良いときに部品を交換できます。

この便利で合理的なプログラムには、以下の利点があります。

- Hewlett Packard Enterpriseのサポート担当者が、システムの問題を解決するために交換部品が必要かどうかを診断し、評価します。また、お客様による部品交換が可能かどうかを判断します。
- お客様による交換が可能な部品について詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト<http://www.hpe.com/support/hpesc>から、メンテナンス&サービスガイドを参照してください。

Hewlett Packard Enterpriseカスタマーサポート

Hewlett Packard Enterpriseカスタマーサポートは、ソフトウェアサポート、サポートプラスソフトウェアサポート、および統合ハードウェアおよびソフトウェアサポートサービスを提供します。詳しくは以下のリンクを参照してください。

- ソフトウェアサポートサービス (<http://www8.hp.com/jp/ja/business-services/index.html>) – オペレーティングシステムおよび幅広いMicrosoft®アプリケーションには、3つのインシデントおよび平日営業時間内の標準電話サポートが含まれます。
- ハードウェアサポート (<http://www8.hp.com/jp/ja/business-services/index.html>) – サーバー向けに一連のハードウェアサポートサービスが利用可能です。
- サポートプラス (<http://www8.hp.com/jp/ja/business-services/index.html>) – サーバー向けに1年の統合ハードウェアおよびソフトウェアサポートが含まれます。
- 90日間の使用開始時のソフトウェア電話サポート – ProLiantサーバー向けに、Hewlett Packard Enterpriseでプリインストールされたサードパーティ製ソフトウェアのテクニカルアドバイスサポート（インストールアシスタンスを含む）が、購入後90日間、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<http://www.hpe.com>) または電話で利用可能です。



重要：出荷されたHewlett Packard Enterpriseのハードウェアおよびソフトウェア構成のみがサポートされます。

頭字語と略語

ACU

Array Configuration Utility。アレイコンフィグレーションユーティリティ

COA

Certificate of Authenticity。出所に関する証明書

CPQTEAM

Network Teaming and Configuration。ネットワークチームングおよび設定

EFI

extensible firmware interface

HP SUM

HP Smart Update Manager

HPE SIM

HPE Systems Insight Manager

HPE SSA

HPE Smart Storage Administrator

IIS

Internet Information Services

iLO

Integrated Lights-Out

IME

Input Method Editor

MMC

Microsoft Management Console。Microsoftマネジメントコンソール

NTFS

NT File System

SIM

Systems Insight Manager

UEFI

Unified Extensible Firmware Interface